

製品名: SESN1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86534**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,FC 1:100-1:500
分子量	Calculated MW:57 kDa; Observed MW:70 kDa

抗原情報

遺伝子名	SESN1
別名	PA26; SEST1
遺伝子ID	27244
SwissProt ID	Q9Y6P5
免疫原	ヒト SESN1 の合成ペプチド

背景

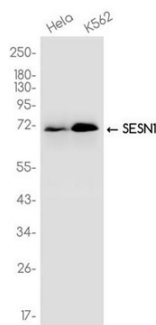
この遺伝子はセストリンファミリーのメンバーをコードしています。セストリンは p53 腫瘍抑制タンパク質によって誘導され、DNA

損傷および酸化ストレスに対する細胞応答において役割を果たします。コードされているタンパク質は、AMP 活性化プロテインキナーゼを活性化することにより p53 による細胞増殖阻害を媒介し、その結果、哺乳類ラパマイシン標的タンパク質の阻害を引き起こします。また、コードされているタンパク質は、過剰酸化されたペルオキシレドキシンの再生による抗酸化防御においても重要な役割を果たしており、この遺伝子の発現は放射線被曝の潜在的なマーカーとなります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2010年12月]

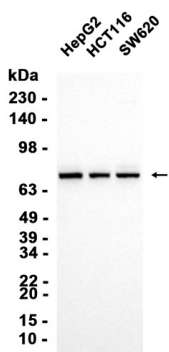
研究分野

-

画像データ



SESN1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa、K562 細胞からの抽出物をウエスタンブロット分析しました。



AMRe86534 を 1:3000 で使用して HepG2、HCT116、SW620 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。